

北 <sup>くに</sup>地域づくり・<sup>ゆめ</sup>未来づくり

Monthly Hokkaido Magazine

月刊  
イズム

# ISM

創刊35周年

ISM 35年、重点テーマとしてきた北方領土  
地方の若者「18歳」になにが起きているか



新シリーズ博物館・記念館に行く〈樋口季一郎記念館〉  
(43ページをご覧ください)

過疎地が消滅？ 高齢者が急増する東京都  
ウクライナ戦争を巡る米口密談はまるでヤルタ秘密会議  
新連載「縄文世界への誘い」

縄文アイヌ  
研究会主宰 澤田 健一

2025  
April  
定価570円

# 4



人生の分岐点、18歳、考

地方の若者になにが起きているか ... 6  
過疎地が消滅？ 高齢者が急増する東京 ... 10

ISM35年、重点テーマとしてきた北方領土 ... 14

ウクライナ戦争を巡る米口密談はまるでヤルタ秘密会談 ... 17

アーカイブ 千島列島全盛期の風景 [1991年ISM4月号より] ... 18

ISM35年 西部邁 北方領土論 [1992年ISM11月号より] ... 22

松本侑三 望郷の択捉 第8回強制退去 択捉から樺太、北海道へ ... 26

連載スタート 縄文世界の誘い 縄文アイヌ研究会主宰 澤田 健一 ... 28

連載 兵役と開拓の日々 小助川 建也 西洋屯田と呼ばれた江別兵村 ... 30

令和の米騒動の核心 ツカモトミルズ 鎌田 英宏 社長 ... 32

酪農は規模より経営力と技術力 北海道農業公社 小田原 輝和 理事長 ... 34

森林が果たす役割は永遠 北海道造林協会 金 秀行 会長 ... 36

異見論 ISM流 1. ISM35年目の感慨、紙媒体氷河時代に抗して 2. 商店街三人衆の米談義「海外組が米の買いにも売りにも来ている」 ... 38  
3. 道民よ 覚醒せよ 地元の若者を支え元気づける方策を考えよ  
4. トランプに頼りたくないが米国に頼らざるを得ない宿命を負う日本

コー スクリップ 経済情報 1. 中和石油 中和石油×エネワンでんき お得なキャンペーン実施中！ 2. サントリー 天然水2工場がAWS認証において最高位「Platinum」取得 「サントリー梅酒〈山崎蒸溜所梅酒ブレンド〉スーペリア」新発売 ... 42

〈表紙の写真〉樋口季一郎記念館 ... 43

カラー キャンパスは「写真の町」東川町 ここで学ぶ福祉と国際文化 ... 2

イーハトーヴ25周年  
道内唯一の全道版フリーペーパーの  
最長不倒の記録更新中！ — 只今、全道のスーパーから配布中！ —

# 令和の米騒動の核心

この3月、政府の備蓄米15万tが入札にかけられ、市場に放出される。思い起こせば昨年6月にも農水省は思案したが、結局「放出されず」、国民は高い値段の米に翻弄された。国民のみにあらず、外食産業界、米菓業界、米穀卸、流通まですべてが品薄と高値推移に翻弄された。明けて今年2月、21万t放出が決まった。食料安保の法律が整備されているのに「なぜ、もっと早く決断しなかったか」。今回、札幌で米粉メーカーの老舗である「ツカモトミルズ」の鎌田英宏社長に令和の米騒動の「ど真ん中にいた苦悩の日々」を聞いた。

聞き手・文／山田勝芳



株式会社ツカモトミルズ  
鎌田 英宏 社長

## 令和の米騒動の発端はウクライナ戦争

発端はロシア侵攻による「ウクライナ戦争」。世界有数の穀倉地帯であるウクライナが戦争状態に置かれ、小麦の積出港や倉庫がロシアから攻撃を受け、各国向けに小麦が輸出できなくなった。ウクライナ産小麦をあてにしていた国々に小麦が入ってこない。そうすると小麦に限らず、世界の穀物全体の需給が逼迫する。

神戸の企業が120〜130円で仕入れた調整加工粉は、うるち米、もち米合わせてアメリカ・タイから年間50万tほど輸入していた。しかし、戦争が影響し輸入が止まった。これが米騒動の発端だ。

砂糖ミックスが入ってきていた。砂糖16%、米84%の割合でミックスして、経産省が認可したものが入って来たけれど戦争が影響し輸入が止まった。穀粉メーカーも米菓メーカーもでんぷんメーカーも

「原料ないぞ」といって「国産に切り替えだ」と原料調達に走った。これがコメの買い漁り現象になった。くず米なんかもどんどん買っていった。しかし、日本の米づくりは減反で推移していたものだから、コメの絶対量も少なめだった。だから加工品のマーケットに出回る量が不足しているから、主食米のほうにも影

響してしまった。

主食米もどんどん減反されたから収穫量も減産している。農家手取りを上げたいという農水省の思惑もあったかもしれないけれど、昨年6月は「備蓄米に手を付けず」の政治判断をした。結果として、それが裏目に出ってしまった。

## 市場に21万t放出しても値段は下がらないのでは

今回は21万t放出ですが、まだ足りないと思います。50万tぐらい市場に放出してやっとイーブンかなと思います。だから、そんな簡単に値段は下がらないと思いますね、残念なことだけれど、昔の農水省とは違いますから。

昔なら「もち米がなくて800円、1000円だ」という時代もあった。翌年はみんなもち米を作るから、今度は価格が暴落する。その繰り返し





## 消費者も外食も困っている 原料がないと倒産の危機

だった。餅米もうるち米も暴落を何回も繰り返しているから、そういう痛みを負いたくないと役所も慎重になった。

ものは5年経ったら家畜のえさにする。食糧難の国に援助米として出す」と言っていた。

備蓄米を放出しないというのは菅直人政権の時に、山田正彦農水大臣に「調整加工粉を止めてほしい」と要望した。輸入までは経産省で、国内に入ったら農水省の管轄になる。コメに16%の砂糖を入れた調整米をふるいに掛けて使う業界が出てきた。これをやっちゃダメとなっているが、大手

でも、ここまで高値になってしまったんで、その時の「やる、やらない」の決定は内閣総理大臣になった。農水省の官僚に「備蓄米の放出の話はしないでほしい」、官僚は自宅に帰られなくなる、法律を変えらる」ということは大変な作業を伴う。触るな、発言はやめてほしいと。

やダメとなっているが、大手の和菓子メーカーはみんなその原料を使い始めた。仕舞いには煎餅メーカーも。

でも、ここまで高値になってしまったら腹を決めてやらないわけにはいかない。やってみないと答えが出ない。100万t握っているのは農水省であり、総理大臣の権限ですから「黙ってやりなさい。価格が下限まで下がった時は法律作りなさい」。今回はとことん来てからの放出ですからね。

「止めてほしい」、山田大臣はすぐに経産省と連絡を取ってすぐ動いてくれて、「日本のコメは主食中心だから、余ったコメは一粒たりとも加工用にも使わせない。保管した

消費者や外食産業業界も困っています。小さな米屋さん

も我々の穀粉メーカーも困っている。みな年商が1億円、2億円の業者ですから原料が手に入らないと倒産します。

メーカーはホクレン、全農とで加工用の複数年契約あって、それが守られているから8割くらいの原料はみんな持っている。それだけで間に合わないから買い漁る。最近は非常にタイトですね。「来月はこのぐらいの事業量はあるだろう」と予想しながら、目算で動かないとならない。

ところがコメがないといえば金をぶつければどこからでも買えると思っている。実際16000円だったコメが、いきなり26000円で購入する。ブローカーがいる。モノを持つていけばいつでも換金できる。しかし、これは法律違反ではないです。悪いことをしているという感覚ではないです。しかし、私は「これは

いかなものかな」と思いますが。

## 家業を引き継いで50年 今の状況は経験ない

この春はみんな多めに作ると思います。令和7年の秋は米が作り過ぎて洪水になるのでは。3月11日に農政事務所です話合われますが、ちゃんと聞いておかないと乗り遅れてしまう。我々は米がなければ米の加工はできないし、お客さんに納得してもらおうとは自分の経営スタンスに関わりませんから「お客さんを困らせないように、供給出来て当たり前」です。私は生産県の北海道にいるから、だれにも相談できない状況ではない。

コツ仕事をする、それが正しい。小さな商いでリスクを背負わない、手堅いお客さんにお世話になってこれが安全経営かな。この30年間、人数が少なくても操業できるようにバージョンアップして生産効率は上げてきた。ただ、原料だけは読み切れない。今回の米騒動もそうですけど、早く落ち着いてほしい。

ホクレンも相談すれば、都合つけてくれる。この家業を引き継がせてもらって50年、こんな経験は今までないですから。早く安定してきて、人間らしい仕事をした。自分には小さな町工場ですから、それでも自分の会社よりも大きな企業さんに原料を納めさせてもらっています。コツ

食料安保の法律ができてすぐに主食の不安定要因が生まれた。一年前は「災害でないから、備蓄米は出せない」だった。そんな堅いこと言ったら5年保管後は動物のえさになる。肝心の人間のえさがないんだから、国は動かないと。この秋、自分の会社はどんなことになるんだろうと戦々恐々としていますよ。これから農水省はどう捌いてまとめるか見どころです。もう3月に入っていますから、稲作農家は種もみを用意しなければならぬ。結論を早くしないと追いつかないですよ。

「今日はどうもありがとうございます。」

「今日はどうもありがとうございます。」